

肝疾患センター



センターHP



1. スタッフ

センター長 (教授) 田中 靖人
副センター長 (助教) 瀬戸山 博子
相談室室長 (特任助教) 吉丸 洋子
相談員 (看護師) 野村 真希

2. センターの特徴、業務内容

熊本大学病院は、2009年5月13日に厚生労働省ならびに熊本県より「熊本県肝疾患診療連携拠点病院」の指定を受けており、県内で肝疾患について良質で適切な医療を受けることができるように、行政サイドや専門医療機関と連携して肝疾患診療連携ネットワークを構築し、熊本県における肝疾患診療レベルの向上と均てん化を図っている。このような肝疾患診療連携拠点病院の機能を総括させるために、大学病院内に肝疾患センターが開設された。本センターは消化器内科が全面的にサポートしており、専任医師や相談員が配置されている。肝疾患患者様の診療は従来どおり消化器内科が担当し、一方、本センターは、肝疾患に関する医療情報の提供、専門医療機関等に関する情報の収集や提供、医療従事者研修会や市民公開講座の開催、専門医療機関との協議会の運営、肝疾患の集学的治療の体制の整備などを担当する。またセンター内に肝疾患相談室を開設し、患者様やご家族、一般市民の方の肝疾患に関するさまざまなご質問・ご相談に応じている。

3. 体制

○ 肝疾患相談室

専任医師や相談員 (看護師) が、下記時間に面談あるいは電話にて相談に応じている。

(面談) 月～金 9時～17時

(電話) 月～金 9時～17時

4. 活動実績

① 熊本県肝疾患診療連携拠点病院等連絡協議会

② 講演会開催、啓発活動

○ 2022年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動
医療従事者向け講座

県内9カ所で開催 参加者総数 134名

○ 2022年度日本肝臓学会肝がん撲滅運動
市民公開講座

県内5カ所で開催 参加者総数 75名

熊本会場はアルコール依存症の特別講演も実施し、WEB配信とハイブリッド開催した。後日、講演内容をYouTube動画配信した。

○ 肝臓病・消化器病教室

院内：コロナ禍のため未開催

院外：出張型1回開催 参加者総数 30名

○ 肝疾患患者家族支援講座

コロナ禍のため未開催

○ 熊本県肝疾患コーディネーター養成講座

年1回開催 参加者総数 79名

○ 熊本県肝疾患コーディネーター研修会

年2回開催 参加者総数 132名

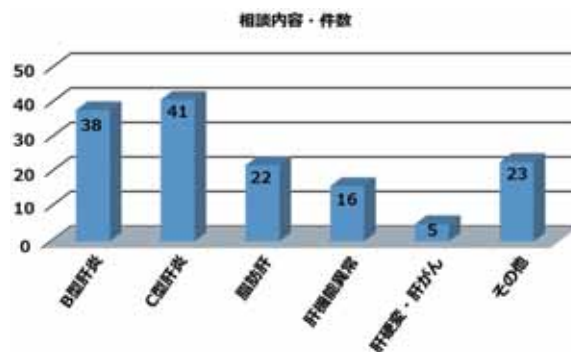
○ 啓発活動

「あなたの肝臓、大丈夫？」 4回開催 (うち2回は熊本市が厚生労働省「知って、肝炎プロジェクト」の令和4年度積極的広報地域に選定されたため、その一環として、スペシャルサポーターとの肝炎啓発トークイベントを共催した)

啓発資材などの配布数：1,500

簡易検査キットを用いた無料肝炎ウイルス検査 110名に実施し、陽性者は1名

③ 肝疾患相談 2022年度 計145件



④ 電子カルテアラートシステムによる精密検査勧奨

○ 肝炎ウイルス検査陽性者アラートシステムの構築
HBs 抗原陽性時には、開帳時に消化器内科コンサルトを促すメッセージを表示

HCV 抗体陽性時には、HCV-RNA 検査を、HCV-RNA 検査陽性時には、消化器内科コンサルトを促すメッセージを表示

○ B型肝炎再活性化防止アラートシステムの構築

リスク薬剤オーダー時、HBs 抗原未検査の際は薬剤オーダー不可 HBs 抗原陽性の場合は消化器内科コンサルトを促すメッセージを表示し、HBs 抗原陰性の場合はHBs 抗体、HBc 抗体検査を指示 両方あるいはいずれか一方が陽性の場合は、消化器内科コンサルトを促すメッセージを表示

5. 地域医療への貢献

○ 熊本肝炎プロジェクト (ウイルス性肝炎早期発見・

治療サポートプロジェクト)

肝疾患非専門医療機関と連携して病診連携システムを構築し、B型肝炎、C型肝炎ウイルス検査陽性患者様が速やかにかつ簡便に肝疾患専門医療機関に紹介され、必要に応じて最新の治療を受けることができる体制を確立している。

- 熊本脂肪肝プロジェクト（脂肪肝早期発見・治療サポートプロジェクト）

脂肪肝が原因で発生する脂肪肝炎・肝硬変・肝がんへの進行を防ぐため、肝臓の線維化を予測する「FIB-4 index」を簡単に計算できるWEBサイトを作成し、脂肪肝の患者様が速やかにかつ簡便に肝疾患専門医療機関を受診でき、必要に応じて最新の治療を受けることができる体制を確立している。



上記QRコードからアクセスし、FIB-4 index を計算肝線維化進展が疑われる高値の場合は、肝疾患相談室へ相談を促している。

2020年 新たに始動！
熊本脂肪肝プロジェクト
(脂肪肝早期発見・治療サポートプロジェクト)

**もう迷わない！
手おくれになる前に。**

この「熊本脂肪肝プロジェクト」は、肝臓の線維化(硬さ)を予測する「FIB-4 index」を用いて、肝がんが進行する前に専門医を紹介してもらう体制を確立しています。脂肪肝が原因で発生する脂肪肝炎・肝硬変・肝がんにならないためには「脂肪肝」の早期で発見しないことが大切です。

※FIB-4 indexとは？
FIB-4 indexは、年齢、AST、ALT、PLTの4項目から計算される数値です。数値が高くなるほど肝臓の線維化が進んでいる可能性があります。

10年経過後
脂肪肝 → 脂肪肝炎 → 肝硬変 → 肝がん

熊本大学病院 肝疾患センター
TEL 096-372-1371

このQRコードを
スマートフォンで読み取ると
FIB-4 index 計算サイト

結果がわかる

※【危険域】判定の方は専門医療機関で精密検査を受けましょう
詳しくは、熊本脂肪肝プロジェクトホームページをご覧ください。
肝臓病予防にFAX 送信でもお申し込みいただけます。

氏名	性別	年齢	AST (U/L)	ALT (U/L)	PLT (10 ³ /μL)	FIB-4 index	判定
山田 太郎	男	55	25	15	150	0.12	低リスク
佐藤 花子	女	45	35	25	120	0.25	中リスク
鈴木 一郎	男	65	45	35	100	0.45	高リスク
田中 美穂	女	50	55	45	90	0.65	危険域

熊本大学病院 肝疾患センター
FAX 096-372-1371

- 眼科ならびに整形外科患者を対象としたC型肝炎ウイルス潜在的キャリア拾い上げにおける有効性研究

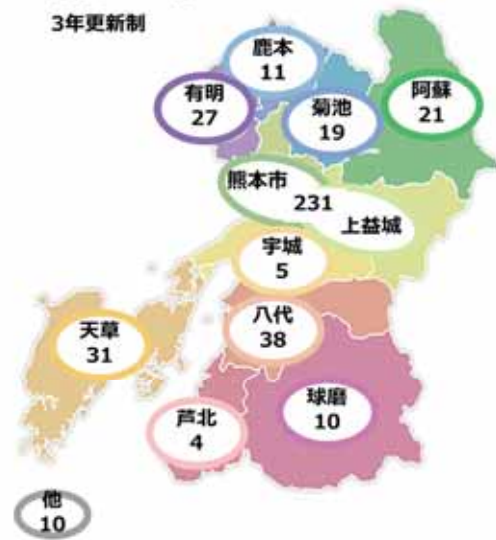
6. 医人教育の取組

- 肝疾患コーディネーターの養成

2015年より県と肝疾患連携拠点病院が共催で、「肝疾患コーディネーター養成講座」を実施し、これまで総勢718名を認定している。(3年更新制 現在407名)肝疾患コーディネーターは、肝疾患に関する基礎的な知識や情報を提供し、肝疾患への理解の浸透、相談に対する助言や相談窓口の案内、受検や受診の勧奨、助成制度の説明などを行い、肝硬変や肝がんへの移行を予防または遅延させることができるようにサポートを行っている。

➤ 現在407名

3年更新制



- 地域医療人を対象とした卒後教育

日本肝臓学会肝がん撲滅運動医療従事者向け講座の実施

7. 研究活動

- B型・C型肝炎ウイルス検査陽性者に対する受診勧奨を目的とした病病（病診）連携システム構築及びその効果についての観察研究